

製品名: CDX2(14H6)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM08595**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	CDX2
別名	CDX2; CDX3; Homeobox protein CDX-2; CDX-3; Caudal-type homeobox protein 2
遺伝子 ID	1045.0
SwissProt ID	Q99626
免疫原	CDX2 の合成ペプチド

背景

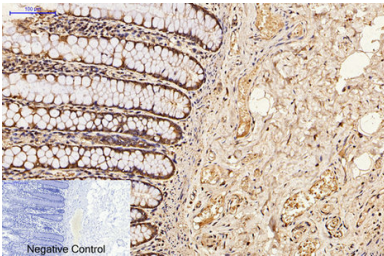
この遺伝子は、caudal 関連ホメオボックス転写因子遺伝子ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は、細胞の成長

と分化に関与する腸特異的遺伝子の主要な調節因子です。このタンパク質は、腸管の初期胚発生にも関与しています。この遺伝子の異常発現は、腸の炎症や腫瘍形成と関連しています。[RefSeq 提供、2012年1月]機能：腸管上皮で発現する複数の遺伝子の転写制御に関与しています。小腸と大腸の両方において、腸管上皮内層の初期分化から維持まで、幅広い機能において重要です。PTM：Ser-60 のリン酸化は転写活性化能を媒介します。類似性：Caudal ホメオボックスファミリーに属します。類似性：1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。

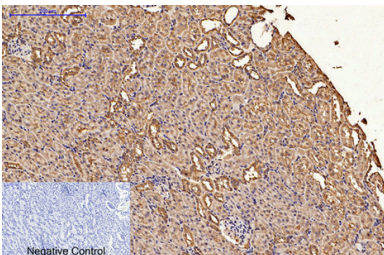
研究分野

幹細胞

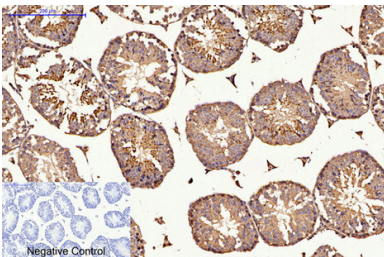
画像データ



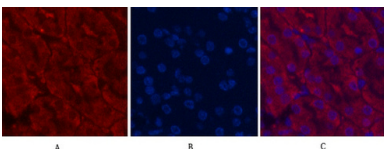
パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学染色。1. CDX2 モノクローナル抗体 (14H6) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



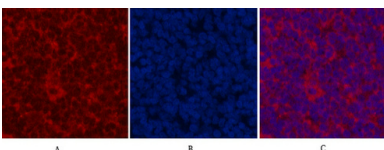
パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学染色。1. CDX2 モノクローナル抗体 (14H6) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



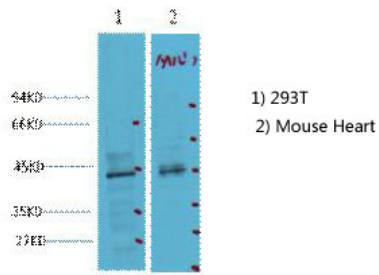
パラフィン包埋マウス精巣組織の免疫組織化学染色。1. CDX2 モノクローナル抗体 (14H6) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



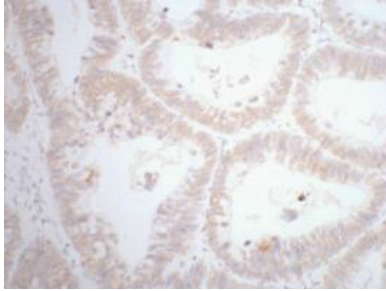
マウス腎臓組織の免疫蛍光染色。1, CDX2 モノクローナル抗体 (14H6) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50分)。3, 図 B: DAPI (青) 10分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CDX2 モノクローナル抗体 (14H6) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50分)。3, 図 B: DAPI (青) 10分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



1) 293T、2) マウス心臓組織 (1:2000に希釈) のウエスタンブロット分析。



1:200 に希釈したヒト直腸癌組織の IHC 染色。